



創立147周年 12月号（令和2年11月30日発行）

*kurosyou-dayori*

# 鉄小だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

## 持続可能な活動を模索しています

校長 森 愛子

11月22日、汗ばむくらいの陽気の中、桐蔭学園小学部を会場に鉄リンピックを開催することができました。6月の学校再開から半年、自分のためにもみんなのためにも、新しい生活様式の中、我慢して工夫して、毎日、できることを一生懸命頑張ってきた。だからこそ、「鉄リンピック」にかける子ども達の思いは、普段の年以上に強く、練習の一回一回をとっても大切にしているのが伝わってきました。開会式では実行委員会を中心に考えたスローガン「笑顔で感謝の気持ちを伝えよう！一致団結 鉄リンピック2020」について実行委員長が熱く語ってくれました。種目が少ない分、応援団のリードで応援タイムをたっぷり取り、応援ダンスやウェーブで全校児童の気持ちを盛り上げ、お笑いあり「鉄あるある」ありのパフォーマンスで楽しませてくれました。団体演技では、統一美ともいえる集団の動きと一人ひとり思いを込めた丁寧な動きが素晴らしく、徒競走では、全力で駆け抜ける姿、失敗しても諦めないで最後まで頑張る姿が感動を誘いました。保護者の皆様、学校運営協議会の皆様におかれましては、感染症対策のため制約の多い参観となりましたが、このような状況下にあっても一堂に集え、子ども達の晴れ姿を見ていただけたことを大変うれしく思います。ご理解ご協力いただいたことに深く感謝しております。

休校や教育活動への制限の続く今年度の経験から、子どもを心身共に健やかに育てるためには、行事やたてわり活動を通じた主体的な活動がいかに大切かを実感いたしました。そして、子どもの活躍をしっかりと認めていただく発表の場も大切です。「鉄リンピック」では感染症対策として観覧席を二階とし、児童との距離を保つため、見づらくご不便をおかけしまして誠に申し訳ありませんでした。今後の年度内の行事も規模縮小や分散での開催、または、一部の方に人数を絞っての協力依頼などが続くと思います。マスク着用・消毒は当然ですが、密を避ける工夫、不特定多数の人との接触を制限することを考慮しながら実施できることはできる限り実施する予定であります。今月は、例年とは違う開催方法となりますが、「ミニ収穫祭」を実施します。5年生が今年の稲作についてまとめたものをテレビ放送で発表し、坂田清一様静江様ご夫妻、金子茂文様、JA職員の方、PTA役員の方数名のご協力により、鉄小のお米で作ったきな粉餅を児童分に小分けして教室に届け、自分たちで刈り取ったお米の美味しさを味わいます。（鏡餅用の児童の餅つきについてはコロナ感染拡大の状況次第と考えています。）

今後も気を引き締めつつ、鉄らしい行事の持続可能な方法を模索して参ります。